

狛江市環境保全審議会

- 日 時 平成 21 年 9 月 30 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00
- 場 所 狛江市役所 5 F 502・503 会議室
- 委 員 田中会長、井上職務代理、飯田委員、嶋原委員、櫻井委員、本橋委員、杉委員、
神鳥委員、榎本委員、渡辺委員、中山委員 (欠席)、増田委員 (欠席)
- 事務局 斎藤環境管理課長、古谷環境管理課環境整備係主査、川井環境管理課環境整備係
主事
- 説明員 石原上下水道課長、岩崎上下水道課下水道管理係主任
- 議 題 (1) 狛江市環境保全審議会会長の選出について
(2) 「狛江市環境保全実行計画第 3 期推進活動報告」について
(3) 「狛江市下水道総合計画」の意見聴取について
(4) その他
- 資 料 (1) 狛江市環境保全審議会委員名簿
(2) 狛江市環境保全審議会運営規則
(3) 狛江市環境基本条例
(4) 狛江市環境基本計画
(5) 狛江市環境保全審議会 (平成 21 年 2 月 23 日) 会議録要旨
(6) 狛江市環境保全実施計画 第 3 期 推進活動報告書
(7) 狛江市下水道総合計画 パブリックコメント資料

議題 (1) 狛江市環境保全審議会会長の選出について

～ 略 ～

議題 (2) 「狛江市環境保全実行計画第 3 期推進活動報告」について

～ 略 ～

議題 (3) 「狛江市下水道総合計画」の意見聴取について

石原上下水道課長から「狛江市下水道総合計画」のこれまでの策定経緯の説明があり、次いで岩崎主任より、狛江市下水道総合計画の内容について、平成 21 年度に追加された第 4 章「段階的整備計画」を中心に説明があった。

これに対する主な意見および質疑応答は、次のとおりである。

委員：雨水浸透ますの市補助対象量と民間設置量の平成 20 年度実績はどうなっているか。

説明員：市補助対象量は 35 基、民間設置量は 215 基となっている。

委員：まちづくり指導基準による雨水浸透ますの民間設置にあたっては、業者に費用を支払っているのか。

説明員：業者が設置するものであり、市からは支払っていない。

委員：雨水浸透ますの事業費は、民間設置量も含む金額なのか。

説明員：民間設置量も含む、期間内に設置する雨水浸透ます全体の費用である。

委員：雨水貯留タンクに対する市の補助はあるのか。

説明員：平成 21 年度から 1 基につき費用の 2/3 の範囲内で 4 万円を上限として補助している。

委員：元和泉 1 丁目に設置する貯留槽・貯留管に貯めた雨水はどうするのか。近くに池があるが、渇水する場合もあるので、そこへの流入は考えられないか。

説明員：貯留浸透施設として、貯留雨水は地下に浸透させることになる。また貯留雨水は道路雨水であり、水質の問題もあるため、池への流入は考えていない。

委員：パブリックコメントは、どのように行うのか。

説明員：広報こまめに概要を記載するとともに、市のホームページに素案全体を添付する。また市役所や図書館等の公共施設にて、素案全体が閲覧できるようにする。

会長：財政の見通しも重要であり、財政計画も明示してはどうか。

説明員：検討する。

委員：対策量に示される事業費は、整備期間中の総計であることをわかるようにした方がよい。

説明員：検討する。

委員：施策の実施にあたっては市民の責務もあり、それを説明することも重要である。

説明員：ソフト対策について検討する。

委員：大雨時のマンホール蓋飛散対策も計画に含まれるのか。

説明員：管渠の更生とは別に、道路整備とあわせて対策を行っている。

委員：更生材の挿入によって、断面が小さくなり管渠の能力は低下しないのか。

説明員：新たに挿入する更生材は、水が流れやすい材質であるので、断面は小さくなるが流下能力に差は無い。

委員：老朽化対策と浸水対策には力をいれてほしい。

会長：今後の下水道については、少子高齢化や地球温暖化、またヒートアイランドを起因とするゲリラ豪雨等を考慮した計画とすることが望ましい。

議題 (4) その他

～ 略 ～